

【2018年4月26日】

大村発電所更新工事（小水力発電所）の竣工式を執り行いました。

～360世帯分の年間電力消費量に相当～

鳥取県大村発電所の完成に伴い、4月26日（木）に竣工式が執り行われました。式には来賓として、竣工までに様々な支援をいただいた鳥取県環境立県推進課様、鳥取県小水力発電協会様、協働事業者である大村電化農業協同組合代表理事組合長様ならびに組合理事の皆様、三井住友ファイナンス&リース㈱様など本事業においてご支援ご協力を頂いております関係者の皆様、約40名が出席されました。

#### 【竣工式の模様】



本事業では、当社が発電所の更新工事を行い、運転を開始してからは、大村電化農業協同組合様と協働で運営にあたり、固定価格買取制度を活用した発電事業を行います。

大村発電所は1961年に大村電化農業協同組合の管理・運営により、地元の電力源として稼働してきましたが、50年余りの経過により施設の老朽化が進み今後の維持管理が困難なことから、水車・発電機などの発電設備と導水路から水圧鉄管などの土木・建築設備を全面更新することで、安全かつ安定的な発電所に生まれ変わりました。

更新された発電所は、㈱三井三池製作所の「横軸フランシス水車」を設置し、赤波川から取水した農業用水（0.24 m<sup>3</sup>/s）を利用して出力199 kWの発電を行う設備です。年間の発電量は、約130万kWh（一般家庭360世帯分の年間電力消費量に相当）を見込んでおり、発電した電力は再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し20年間に亘り中国電力㈱へ売電します。

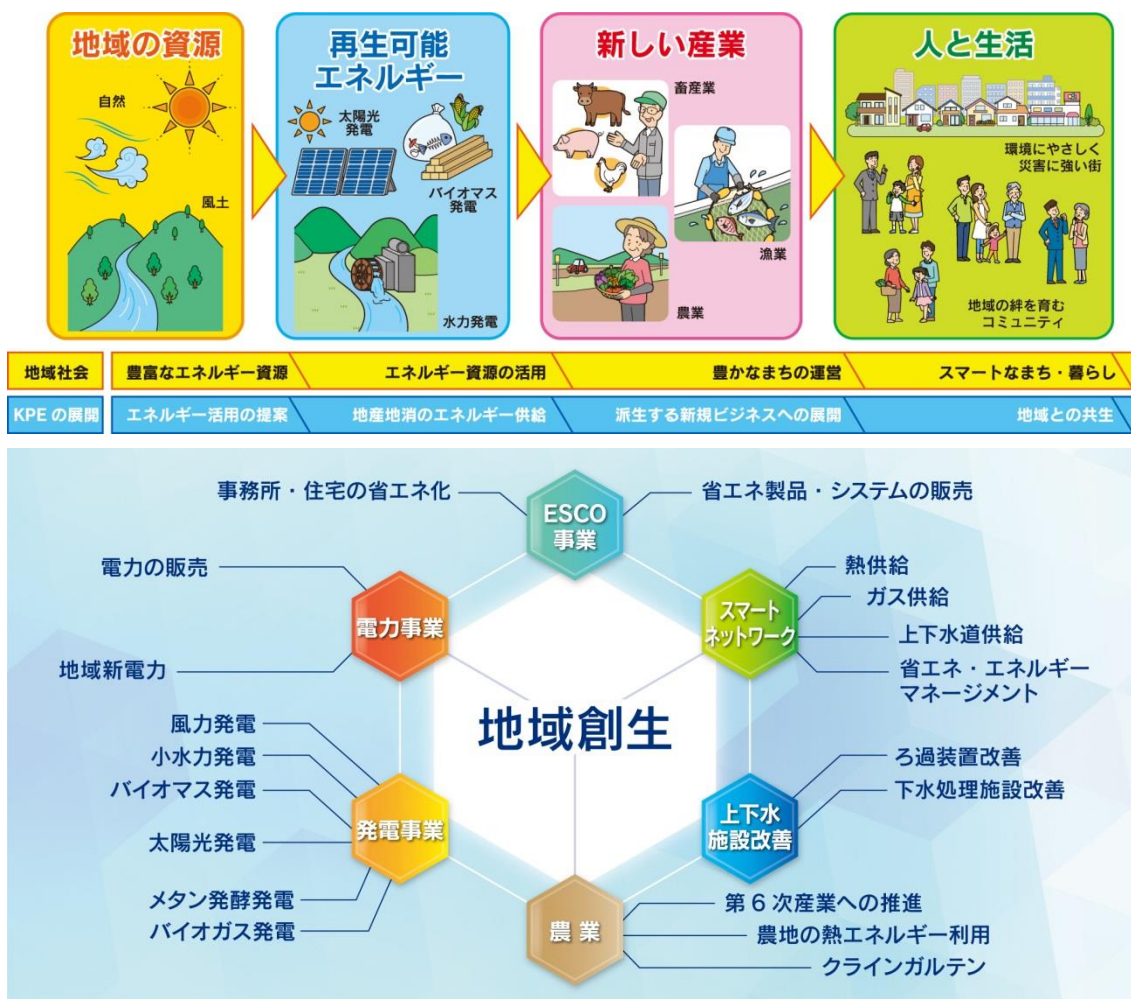
【大村発電所 諸元】

- (1) 発電所名 大村発電所
- (2) 設置場所 鳥取県
- (3) 使用水量 最大 0.24 m<sup>3</sup>/s
- (4) 有効落差 113m
- (5) 発電出力 199kW
- (6) 運転開始日 2018年2月23日

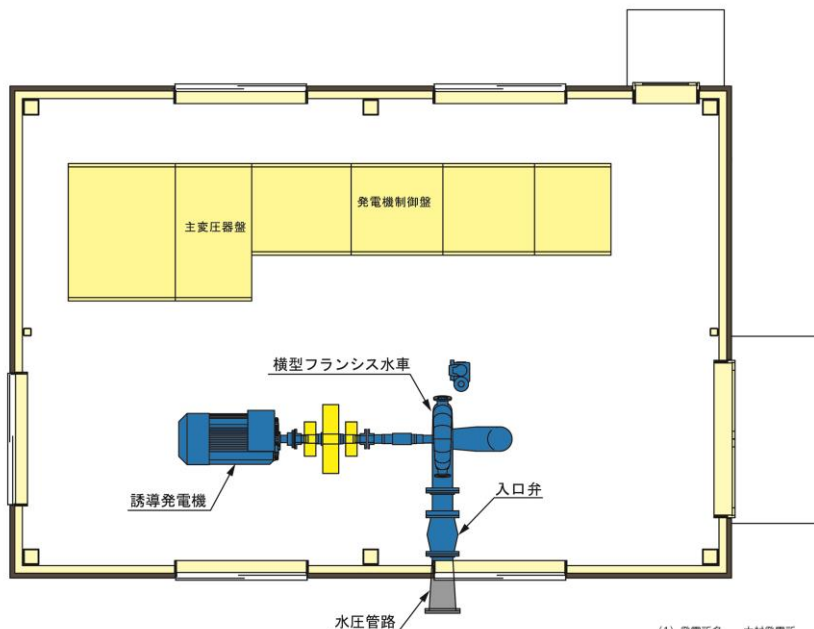


当社では、小水力発電・太陽光発電・バイオマス発電等、地方展開による地産地消エネルギーをベースとし、各地のコミュニティーに積極的にかかわる中で、地域がかかえる問題をビジネスチャンスとして捉え、新規事業の検討を進めています。

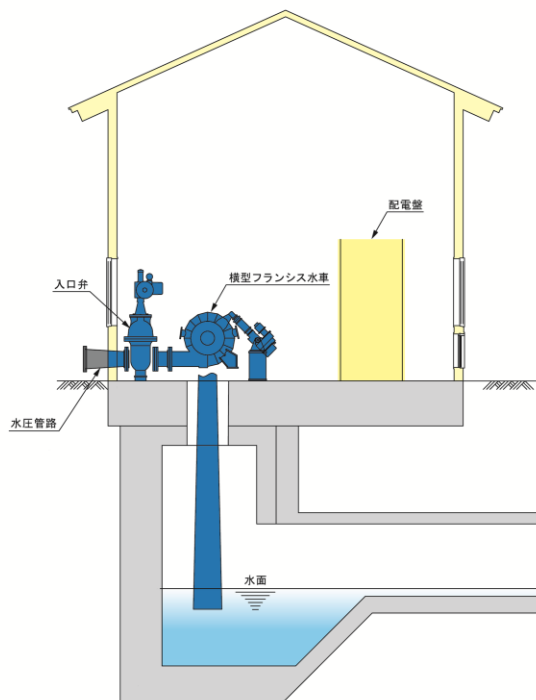
多様な国産の再生可能エネルギーを組み合わせることで、社会に貢献することを目標に地域に密着したエネルギー事業を構築してまいります。



# 【新大村発電所 概要図】



- (1) 発電所名 大村発電所
- (2) 設置場所 鳥取県
- (3) 使用水量 最大0.24m<sup>3</sup>/s
- (4) 有効落差 113m
- (5) 発電出力 199kW
- (6) 運転開始日 2018年2月23日





【更新後の発電所】



【更新後の水車】



【更新後の水圧管】

